

# 令和5年度 学校経営計画

富山県立大門高等学校

## 1 学校教育目標

「創意・敢行」の校訓のもとに、次の3点を基本目標として掲げ、時代をたくましく生き抜く人材を育てる。

- 高い知性と創造的な能力を養う。
- 自他敬愛の精神と主体的な実践力を培う。
- 豊かな情操とたくましい心身を育てる。

## 2 学校の特徴

(1) 本校は、高度情報化社会をリードする人材の育成をねらいとした「情報コース」を設置する普通科単独校である。生徒のほとんどは国公立大学をはじめとした高等教育機関への進学を目指している。

学習面では、習熟度別学習や班別学習などの実施に加え、生徒1人1台タブレット端末導入により日頃の授業の充実と学習成果を向上させる取組や、学習意欲の向上と学習習慣の確立に向けた全校的な指導を継続的に行ってきた。

進路面では、1人1台タブレット支給を契機として、教育用クラウドを使用した学習や活動の振り返りや、個人面接を中心としたきめ細かな進路指導を実践するなどして、主体的な学習活動や進路実現のための有意義な振り返りによる成長を目指している。

生活面では、生徒主導による自治的・自発的な生徒会運営を目指し、生徒の主体性を生かした実践力・リーダーシップの向上を推進している。

(2) 本校卒業生の特徴として、理工系大学への進学者が多く、そのための進路講演会、進路研修旅行や富山県立大学・金沢工業大学での実習等、高大連携事業などを企画し進路意識の向上を図っている。

(3) 「情報コース」が設置されている特性を生かし、情報教育を核としながら、ICT機器を活用した授業を推進している。最近では新たな学びの確保のためにオンライン授業の実施をするなど、タブレット端末を活用した取組を実践している。また、コース以外の生徒でも情報メディアを活用した課題研究に取り組めるよう、教育課程を工夫している。

(4) 環境教育や国際交流にも重きをおいており、平成9年から「高校生国際環境サミット」（現在の「CEI 環境国際会議」）に参加し、平成29年にはCEI2017 環境国際会議（アメリカ合衆国開催）に、令和元年にはCEI2019 環境国際会議（トルコ共和国開催）に参加し、これまでに通算9回目の参加となった。また、平成25年度に大韓民国、平成28年度にロシアで開催された「北東アジア地域環境体験プログラム」にも参加し、英語でのプレゼンテーションや世界各国の高校生との環境問題に関する意見交換を通して、積極的な国際交流に取り組んできた。令和2年にはCEI 環境国際会議への参加や国際環境委員会の活動の成果が認められ、「地域環境保全功労者表彰（環境大臣表彰）」を受賞している。

## 3 学校の現状と課題

本校生徒の意識と生活の実態を見ると、優しく素直な生徒が多く落ち着きがある反面、将来の目標を実現するために積極的に立ち向かっていこうとする意欲やたくましさがない面がある。また、一部には基本的生活習慣の確立を課題とする生徒も見受けられる。

本校は大門高等学校グランドデザインのもとに、卒業までに身につけさせたい6つの力（自ら学ぶ力、深く考える力、創造する力、主体的に行動する力、人間関係を形成する力、地域に貢献する力）を設定した。その目標達成のために学校課題として「自ら高い目標を持ち、意欲的に学習し、主体的に行動できる生徒をどのように育成するか」を掲げ、以下の3つの目標を達成できるよう取り組む。

①ICT機器を活用した学習支援により学習の習慣付けを図り、少人数班別学習や習熟度別学習を行うことで、基礎学力の定着や学習意欲の向上を図る。また、大学や射水市との連携事業を通して幅広い領域の学問にふれることで、興味関心を高め、学問を探究する態度を育てる。

②生徒会活動や部活動の活発化、学校行事の充実を図ることで、礼儀やマナーなど社会性や主体性を育てる。また、生徒が地域の活動や国際交流活動に参加することでボランティア精神を育んだり、環境保全の意識を高めるなど、社会に貢献できるよう様々な方策を探る。

③進路ガイダンス・職業研究や進路講演会等のキャリア教育を推進することで、生徒の職業観を育成し、生徒が自らの進路を切り拓き、夢を実現できるよう支援する。

本校は各学年3クラスの小規模校である現状を踏まえ、学習面や部活動においてきめ細かく指導できるような体制の整備を図り、学校生活全般にわたって主体的・協働的に活動できる生徒の育成に努める。